

奈弓連だより

通巻 266号

令和6年4月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 阪中計夫
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先：henshu@narakyudo.jp

令和6年度の始まり さらなる発展を求めて
皆様のご理解とご協力をお願いいたします

奈良県弓道連盟 会長 阪中計夫



奈良県弓道連盟は、昭和25年7月に結成発起人会が持たれ、会則の議決とともに、井上嘉三郎先生が初代会長に就任されています。それから70年以上が経過し、会員数も1,800名を超えるまで発展を遂げてきました。そのような中、これまで10年間、西中会長を支えてやってきましたが、西中会長の勇退に伴い、このたび新たに会長に就任することになりました。会員の皆様のご協力をいただき、さらなる発展を求めて県連運営を進めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

いま県連は、2031年の国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の開催を控えていることや、中学校部活の地域移行など、わたしたちをとりまく環境が大きく変わろうとしており、大変重要な時期と認識しています。国民スポーツ大会が一過性でなく、その後の県連活動が永きにわたって発展していけるよう、新しい時代に見合った弓道場の整備とともに、県内各地での弓道活動の場の確保、そして弓道の普及に必要な人材の育成に向けて、さまざまな事業を企画し、乗り越えていかなければなりません。

これらを念頭に、多くの会員の皆様のお力をお借りし、活発な活動とともに弓道の発展・普及、社会へのさらなる浸透を目指していきたいと考えております。多くの課題が目の前に控えておりますが、皆様へのご理解とご協力をお願いして、就任のことばとさせていただきます。

昇段おめでとうございます

3月近畿地域連合審査において次の方が昇段されました。(3月31日開催

プロシードアリーナ HIKONE 弓道場)

五段 仲倉 牧子さん (橿原支部)

3月地連審査会において次の方々昇段されました。(3月24日開催 橿原公苑弓道場)

四段 北川 清二さん (橿原支部)

谷本 浩樹さん (郡山支部)

おめでとうございます。(事務局)

令和6年度 評議員会

各報告が行われ、新年度がスタート

4月14日(日)中央審査講習会后、橿原公苑弓道場の射場内にて評議員会が開催されました。



令和5年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、西中前会長の退任の挨拶がありました。



続いて令和6年度の行事予定案、予算案が承認され、新年度のスタートを切ることが出来ました。役員・スタッフの変更や連合・中央審査会の申込先など変更が多数ございますので、詳しくは令和6年度の便覧を確認していただきますようお願い致します。

西中正前会長

長い間ありがとうございました

(理事長 藤岡 順)

令和5年度 第4回・第5回地連審査

360名以上の多数の方々を受審

3月17日・24日(日) 橿原公苑弓道場及びロート奈良弓道場に於いて、審査会が行われました。

両日とも雨模様で更衣室や控室からの移動等、受審者の皆さんには気の毒な天候となってしまいました。そんな中、第4回奈良会場では高校1年生が飛び級で初段合格。また第5回橿原会場では中学生の初段合格が出ました。

令和5年度の地連審査会が無事に終了できましたこと、審査員長をはじめ審査員の先生方、お世話いただいた各学校、担当支部の皆様にお礼申し上げます。

令和6年度の審査会も受付を2部制にし、開会式・矢渡を行います。ただし、参加、見学は自由とします。学科審査は引き続きレポート提出となり、合格通知も後日、支部・学校へお知らせします。

今回の審査会で、学科問題相違のため不合格になられた方がおられました。ホームページの審査実施要項を確認し、学科解答用紙には問題も記入するようにしてください。

●審査申込書を取りまとめられている担当者の方へ
今年度も会場や人数の相違を防止するため、審査申込明細書をホームページに記載しております。お手数ですが、明細書を添付して審査申込書をお送りください。
3月審査結果は以下の通りです。

●第4回地連審査(橿原)

級位 受審者 68名 1級査定 44名、2級査定 25名

初段 受審者 18名 合格者 15名

弐段 受審者 10名 合格者 8名

参段 受審者 10名 合格者 2名

四段 受審者 7名 合格者 1名

●第4回地連審査(奈良)

級位 受審者 47名 1級査定 40名、2級査定 6名

初段 受審者 2名 合格者 3名

(無指定より1名合格)

弐段 受審者 9名 合格者 8名

参段 受審者 7名 合格者 4名

四段 受審者 4名 合格者 1名

●第5回地連審査(橿原)

級位 受審者 77名 1級査定 54名、2級査定 21名

3級 1名 現級 1名

初段 受審者 17名 合格者 13名

弐段 受審者 21名 合格者 16名

参段 受審者 5名 合格者 1名

四段 受審者 6名 合格者 2名

●第5回地連審査(奈良)

級位 受審者 59名 1級査定 36名、2級査定 23名

初段 受審者 18名 合格者 11名

弐段 受審者 14名 合格者 10名

参段 受審者 7名 合格者 0名

四段 受審者 7名 合格者 0名

(審査部 松村 由喜子)

令和5年度 都道府県対抗弓道大会(オンライン)

悪天候の中、予選通過。2回戦に進みベスト8に



3月20日に全国各都道府県弓道場(奈良県は橿原公苑弓道場)にて標記大会が実施されました。

参加チーム数は佐賀県と大分県を除く45都道府県で、各府県ではZoomで配信用の端末を繋ぎ、運営役員はLINEオープンチャットで連絡を取りながらGoogleスプレッドシートに的中の入力などを行うという形でした。競技部スタッフの皆さま、綿松さん、色々とサポートいただいた予備登録選手の皆さま、射場審判や的前審判を務めていただいた西中会長、長濱強化部長、そして阪中監督、立ち札が風で飛んだり、時折曇や霰が落ちてくるような悪天候の中、ご尽力頂きありがとうございました。

令和5年度は全弓連の年間行事予定に標記大会が載ったこともあり、道場の確保なども出来て奈良県としては初めての参加でした。(令和6年度も参加を計画しております。)

今回の奈良県チームは、先日、名古屋で行われた世界大会で活躍した西田君を大前に、2的は国体で落を引いた盛山君、中立は各種大会で活躍している山口君という3人に衛藤さんと私が引き摺られていくという編

成でした。結果は予選通過、1回戦を勝ち進みましたが2回戦敗退、ベスト8で終了でした。

当日予選前の練習は気温のせいなのか風の影響か、10中を少し超えた程度の的中だったので、予選1本目で5人連続での的中し、15中で通過が決定した時は正直ホッとしました。次回は今回以上の結果を！衛藤さん、我々も若者に負けないように頑張りましょうね。

我こそはと思われる方は令和6年度の予選会へ是非ご参加下さい！各都道府県の様子はYouTubeで配信されていたのでご覧になられた方もおられるかと思えます。日が差して穏やかな環境で引いているところ、暖房が効いているのか半袖で引いている姿、袴を風になびかせているところや完全屋内に見えるところなど様々ですが、奇麗で立派な広い道場が多いなと思いました。

国スポ大会に向けて整備される我が奈良県の道場はどんな道場になるのか、こんな感じかなとか想像しながら見ていました。楽しみです。

(郡山支部 藤岡 順)

令和5年度 奈良県中学校弓道選手権大会

男子優勝は中島選手(檀原)

女子優勝は松本選手(大成)

学校対抗戦は大成中学校が優勝

3月16日(土)、標題の大会が檀原公苑弓道場にて行われました。近似的個人戦及び学校対抗戦で、個人戦は各人4射とし、2中以上の者が予選通過。予選通過者は再度4射し、計8射の的中数で順位を決定。学校対抗戦は各校4名(男女混成可)とし、選手は当日決定し、トーナメント戦で行いました。

参加人数は男子49名、女子97名でした。

結果は以下の通りです。

<個人戦>

男子

優勝 中島 啓秀 (檀原)

2位 牧浦 正登 (香芝)

3位 半田 冬羽 (檀原)

女子

優勝 松本 結月 (大成)

2位 高橋 里奈 (檀原)

3位 服部 花音 (檀原)

<学校対抗戦>

優勝 大成中学校

2位 檀原中学校

3位 八木中学校



個人戦入賞者

左から 女子1位～3位、男子1位～3位



学校対抗戦 前列:1位 大成中学校

後列左から: 2位 檀原中学校、3位 八木中学校

(中体連 中前 芳一)

令和6年度 第1回中央審査講習会

講習会に参加する心構えとは

4月14日(日)、今年度の第1回中央審査講習会が開催されました。主任講師に教士八段須田三郎先生、講師に教士七段西浦範光先生をお招きし、少し汗ばむような陽光の下で40名の受講生が熱心に稽古に励みました。今回は久々に1日の講習会となり、射技研修や射礼研修のほか、見取り稽古を通じて、各自が課題を見つけることができたように思います。

講師の先生方からは、「的中に囚われないこと」「目線に注意すること」「呼吸に合った射の流れを意識すること」「物見が崩れると射品が悪くなること」「手の内について勉強が必要であること」等についてご指摘がありました。また、体配の大切さのほか、「入場の国旗正対ができていないのは問題外であり、講習会等に参加する各自の意識の問題」といったご指摘もありました。

閉講式において、阪中会長からは「講習会1日だけで上手になることはなく、大切なのは受けたご指導を宝物にして、今後の練習に活かすこと」とのお話もあり、道場に戻った後に弓友と共有しながらご指導を1つずつ紐解きながら修練することの大切さを改めて感じ

られた講習会でした。支部において研修できる内容を今一度確認し、しっかりと目的意識を持ちながら参加ができるよう、修練していきたいと思えます。



ご指導をいただきました先生方、またご協力を賜りました先生方、運営にご協力をいただきました受講生の皆様に、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(指導部 大西 洋亮)

大和郡山市お城まつり弓道大会

県内唯一の一般会員が参加できる採点制の大会

4月7日、大和郡山市弓道場において桜の満開と同時にお城まつり弓道大会を開催いたしました。今年は参加者94名(参段以下の部：54名)(四段以上の部：40名)と県内から多くの方にご参加頂き大いに盛り上がりました。

お城まつり弓道大会は平成16年(2003年)に布目弓道大会に少し遅れて始まった採点制の大会です。布目弓道大会が四半世紀(25回大会)で一つの区切りとなりましたので、一般会員の方が参加できる採点制の大会としては県内唯一の大会となりました。採点は体配・射技の習熟度を現有段位に照らし合わせて査定し、これを一本につき100点満点、一手を200点満点で評価します。(一手の行射を現有段級位相当の演武は一手75点を目安)的中上位者ではなく高得点者が勝ち進んでいく形となりますので、他の競技会とは違った面白みを感じていただけたと思います。参加者の皆さんからは「審査を受ける目安にしています」「体配の勉強になります」というような感想を多く頂いています。

私は初めて四段以上の部に参加することになり、今まで以上に緊張と不安で当日を迎えました。当日は運営でバタバタしており気付けば招集…「今日は普通の稽古の発表の場」と考え、いつも注意されていることを

一つ一つ意識しながら挑みました。結果二次予選で敗退しましたが、緊張の中で普段通りのことがなかなかできないことを改めて痛感しました。ただ、今の自分の射が審査員の先生方の目にはどう映るのかがわかり、今後の練習の励みとなりました。

採点制ということで敷居が高いと感じて参加を躊躇されている方もいらっしゃると思いますが、ぜひ今現在の自身の練習成果の確認、各種大会や審査会につながるヒントを掴んでいただければ幸いです。

毎年、年度初めの4月の第一日曜日に開催しております。拙い運営ではありますが、参加して良かったなと思っただけのような大会となるよう努めておりますので、興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。

【大会結果】

参段以下の部

- 1位：清水 友稀(県立大付属高校)
- 2位：宇和川 博(郡山支部)
- 3位：長谷川 結(畿央大学)

四段以上の部

- 1位：佐藤 峻(郡山支部)
- 2位：竹内 洋(郡山支部)
- 3位：吉里 晃秀(蒼弓会)

最高得点賞

- 632点：清水 友稀(県立大付属高校)



入賞者のみなさん
左から
後列 竹内さん
佐藤さん
吉里さん
前列 宇和川さん
清水さん
長谷川さん

(郡山支部 小山 淳子)

編 | 集 | 後 | 記

平成26年(2014年)から10年間に渡り、奈良県弓道連盟を愛し、皆を力強く引っ張ってくださった西中正前会長がご勇退され、阪中新会長の船が出航しました。皆さんの活発な活動やご協力が新しい船のエネルギーとなります。楽しく弓道しましょう!

(編集担当 松澤和実)